

JA全農えひめ情報

おひめど

■特集

レインボーフェスティバル in えひめ2014

12

2014・December





▶「ひめキュンフルーツ缶」メンバーもブランドマーク入りのハッピー姿で売り込みました。



▲「ひめとんボーイズ」も特設コーナーで販促活動。



▲「ひめキュン」に会えて感激。愛媛の肉も好きになってね。

ブランド肉の PRイベント

(松前町)



J A全農えひめは、(株)フジと共同で10月から11月末まで、「ふれ愛・媛ポーク」と伊予牛「絹の味」の販売拡大をめざし、地元アイドルグループ「ひめキュンフルーツ缶」をキャンペーンキャラクターに起用した販促キャンペーンを実施しました。

10月25日には、エミフルM A S A K Iで、キャンペーンPRイベントを開催しました。当日は、「ひめキュンフルーツ缶ライブ」のほか、店内食品売場特設コーナーで、ブランドマーク入りのハッピーを着た「ひめキュンフルーツ缶」のメンバーが、「美味しい愛媛のお肉を食べて」と笑顔で呼びかけアピールしました。「ふれ愛・媛ポーク」若手生産者ユニット「ひめとんボーイズ」もセレモニーや販促活動に参加し、イベントを盛り上げました。

特設コーナーでは、「ふれ愛・媛ポーク」(株)フジオリジナル脇川清流豚と伊予牛「絹の味」を購入すると、「ひめキュンフルーツ缶」の握手券や6ショット撮影券がもらえることもあり、肉を買い求める大勢の方で賑わい、愛媛の系統ブランド肉のPRと地産地消と購入者層の拡大を図ることができました。

めぐり〜ど

December 2014

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



平成26年が早くも終わりを迎えようとしています。今年はあなたにとって、どんな一年でしたか？

おせち料理を作るおばあちゃんとお母さん、餅を運ぶお父さん、しめ縄飾り担当はおじいちゃん、クルクル巻きの来年のカレンダーを吊るすお兄ちゃん。ニコニコ笑顔で着々と新年を迎える準備が進む年の瀬です。

●表紙：正月準備
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.168

ブランド肉のPRイベント (松前町)

2

〈特集〉

レインボーフェスティバル in えひめ2014
生産者と消費者を結ぶ交流イベントに
2万2,000人来場！

6

THE・ねっとわーく

8

ふるさと ESSAY VOL.236

くすぶっている夢を
外に出してあげる、ということ
森 幸一郎さん

10

TOPIC NEWS

14

なんでもBOX

15

統計BOX

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉ユズ

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

レインボーフェスティバル

in えひめ2014

～生産者と消費者を結ぶ交流イベントに2万2,000人来場！～



ＪＡ全農えひめとグループ会社は、11月1日(土)松山市大可賀のアイテムえひめで、「レインボーフェスティバル in えひめ2014」を開きました。当日は、雨予報で午後からは強い雨が降りましたが、昨年を上回る22,000人の人出で賑わいました。



このイベントは、ＪＡ全農えひめとグループ会社が「生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋」をコンセプトに、生産者と消費者の交流イベントとして開催している県内ＪＡグループの一大イベントで、今回が22回目。会場では、ＪＡ全農えひめとグループ会社、県内ＪＡ・生産者組織、関連団体など約40の団体が、自慢の農畜産物・特産品などを出品し、試食や袋詰め放題、すくいどりなど趣向を凝らしながら即売・ＰＲを実施し、旬の味覚を買い求める人で賑わいました。また、おにぎり・うどん・マヨネーズ・ホットケーキづくりや餅つき、収穫体験 ＤＥ お宝ゲット（ブースにみかんの樹を持ち込んでみかんを模したカプセルで疑似収穫）、農機試乗、寄せ植えなど子どもたちを中心に体験イベントを行って、食と農の大切さをアピールしました。

特設ステージでは、「オレンジロードイベント」「ひめとんボーイズ＆ゼウシくんショー」「にこまる60kgなどが当たる大抽選会」「食べ物紙芝居&バルーン」「仮面ライダードライブショー」を開催しました。

「オレンジロードイベント」は、みかんピラミッド早積み大会、みかん・オレンジロードのパンプ配布な

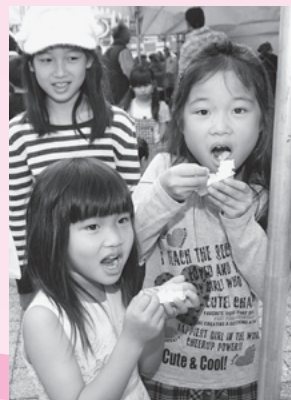
会場内の笑顔を集めました！



▲美味しいみかんがいっぱい食べれるね



▲おにぎりづくり



▲愛媛のお米はやっぱりおいしい



▲J A 愛媛養豚経営者協議会の皆さん



▲柿も甘い



▲まあーるいお餅ができました



▲たまご袋詰め放題



▲愛媛のお肉はサイコー！



▲J A にしうわの皆さん



▲今年もお餅は大好評！ J A えひめ女性協の皆さん



▲ボンジュース蛇口のみかん
ジュースに大満足！



▲球根つかみどり



▲親子でマヨネーズ
づくり



▲味噌汁の美味しさが伝わっ
てきます



▲収穫体験で「にこまる」ゲット

ことを通じて、11月3日「みかんの日」から4月14日「オレンジデー」まで取り組む「オレンジロード」をPR。「ひめとんボーイズ&ゼウシくんショー」は、「ひめとんボーイズ」デビュー1周年ライブ、ひめとん・ひめ丸・ゼウシくん・みの太とニクニクダンサーズによるニクニクダンスやじゃんけん大会を実施し、子どもたちも大喜びでした。このほか畜産ブースでも、「ふれ愛・媛ポーク」・伊予牛「絹の味」の試食PRなどを通じて消費拡大を呼びかけました。

また、来場者にイベントをより楽しんでもういただきながら、県内でブランド化を進めている作付拡大お米「にこまる」をPRしようと実施した「にこまる60kgなど当たる大抽選会」は、1,500円分以上購入の方が対象にもかかわらず、1,682通の応募があり好評でした。

なお、「チャリティバザー」と「収穫体験DEお宝ゲット」、募金箱を通じて集まった12万5,246円は、全農全国統一活動として「NHK歳末たすけあい」に全額寄付します。

今年も多くのJ A・団体のご協力により、地域の皆様に「豊かな食文化の創造」「愛媛農業への理解促進」を図ることができました。ありがとうございました。

JAのブースをはじめ 各コーナーも 賑わいました！



▲JA愛媛たいきの特産の柿は子どもたちも大好き



▲JAえひめ南は、じゃこ天や米粉パン、自然薯、柚子など特産品がてんこ盛り



▲JA松山市はピーマン袋詰め放題などで新鮮野菜をPR



▲JAうまは里芋「伊予美人」と里芋コロッケを販売



▲JAにうわは特産のみかんを販売



▲愛媛県椎茸同志会の「乾椎茸すくいどり」



▲活気のあったJAひがしうわ「れんげ市場」ブース



▲JAえひめ中央（小田）は手作り加工品をアピール



▲JAおちいまばりは仙高ボーク串焼き



▲JA周桑は味噌汁試食を通じて来場者を引き寄せました



▲JA今治立花は特産のレンコンとレンコン焼酎

体験コーナーも大人気！



収穫体験 DE お宝ゲット

ブースにみかんの樹を持ち込んでみかんを模したカプセルで疑似収穫やジュースの飲み比べ、アンケートを行いました。



▲親子で仲良く寄せ植え体験



▲お宝がゲットできなかった子は「にこまる」を袋詰めして持ち帰り



▲ボンジュース蛇口は今年も長蛇の列が…



▲餅つき体験



▲卵からマヨネーズづくり！



▲ホットケーキ完成！



▲一所懸命おにぎりづくり



▲手作りうどんはおいしいー

オレンジロードイベント



ステージ上で、愛媛みかん大使と諏訪玄県本部長が11月3日から4月14日まで取り組む「オレンジロード」の取り組みを紹介。みかん早積み大会は、子どもたちが歓声をあげながら大喜びで挑戦。会場ではみかんも配布しました。

ひめとんボーイズ&ぜウシくんショー



「ひめとんボーイズ」はダンスも披露し、ぜウシくんらによるニクニクダンスは、ちびっ子たちもステージ下で一緒に踊っていました。賞品の肉をめざしたじゃんけん大会も盛り上がりしました。



ピンポンゲームで、めざせ石川佳純選手！石川選手の等身大パネルを置いて挑戦



▼野菜たっぷりのトルティーヤとジェラートなどを通じて「えひめ野菜」をPR



▲伊予牛「絹の味」の鉄板焼きも大好評



▲にこまる60kgなどが当たる大抽選会はステージ上で盛大に開催！応募コーナーも賑わいました



▲「みきゃん」のぬり絵（えひめ愛フード推進機構）



▲NHK松山放送局の食べ物紙芝居＆バルーン



▲J A 愛媛米麦生産者組織協議会は「にこまる」の試食PR

THE

ねとわーく

「消費宣伝キャンペーンを展開し 愛媛みかんをPR！」

果実課

J A全農えひめ果実課は、今年も愛媛みかんの本格出荷にあわせ、首都圏と関西地区で、「愛媛みかん消費宣伝キャンペーン」を実施しました。11月5日には、愛媛みかん消費宣伝キャンペーンのスタートにあたり、



▲長谷川副知事を表敬訪問

り、2014愛媛みかん大使4人とJ A全農えひめの諏訪玄原本部長らが、愛媛県庁に長谷川淳二副知事を表敬訪問しました。愛媛みかん大使は、「一人でも多くの方に愛媛みかんのファンになってもらえるようPRしてきます」「愛媛みかんの美味しさと魅力を伝えて



▲東京・大田市場で初荷セレモニーを開催

いきたい」と元気よく決意を伝え、みかんのカゴ盛りを贈呈。試食した長谷川副知事からは、「甘くて、美味しく仕上がっている。皆さんの笑顔でしっかりアピールしてほしい」と激励の言葉がありました。

愛媛みかん消費宣伝 キャンペーン

今年の愛媛みかん消費宣伝キャンペーンは、11月3日の「みかんの日」を前に、11月1日「レインボーフェスティバル」会場で「オレンジロード」スタートイベントを開催。その後、11月6日～11月10日まで、首都圏と関西地区で、キャンペーン活動を展開しました。



▲各種イベントを通じて愛媛みかんをしっかりとPR

県内産早生みかんが出揃った11月6日には、県内主産地J Aとともに東京・大田市場競売場で初荷セレモニーを行い、早生みかんの出荷スタートと今年産の早生みかんの品質をアピールしました。また、7日にはJ R有楽町駅前広場特設ステージで行われた愛媛県観光・物産PRイベントに参加、8日には「西銀座」晴海通り側エントランスで、愛媛みかんを約1万人にサンプリング（1人3個を無料配布）、このほか、マスコミ訪問活動や店頭販促活動、市場訪問などを精力的に行い、愛媛みかんをPRしました。

J A全農えひめは、4月14日「オレンジデー」を「愛を深める」記念日として定着させ、新たな需要を掘り起こし販売拡大につなげようと、今年も11月3日「みかんの日」から4月14日まで、「オレンジロード」として取り組んでいます。「オレンジロード」は、「愛のシンボル」であるオレンジを、「オレンジデー」までの記念日ごとに季節の旬の柑橘を贈り合うことで、愛を育み深めていく道なのです。今年も、県内J Aと一体となり、温州みかんやこれから旬を迎える愛媛産柑橘の消費拡大と「オレンジデー」の定着に向けて取り組みます。

「平成27農薬年度価格交渉経過と結果概要について」

肥料 農薬課

全農は、平成27農薬年度（平成26年12月～平成27年11月）の価格交渉は、7月下旬より製剤15社、原体21社と個別に交渉し、次のとおり妥結しました。

1. メーカー要求の概要

メーカー各社からは、以下の理由で全農受入ベースの製品換算で、原体部分では1・42%、製剤部分（登

録維持経費含む）では0・84%、合計2・26%の値上げ要求がありました。原体価格の値上げ要請があったのは81原体。（国内登録有効成分数496原体）

〈原体部分〉

- ・原料価格の上昇による、合成コストの上昇や原体製造量が減少したことによる固定費の増加
- ・海外メーカー原体は、原料価格や

人件費等の上昇、円安による収益減、活発な海外市場に対し日本市場の地位低下による玉確保の困難さランネット、クリンチャー、パラコート、クロラントラニルプロール、スピノエース（水稲用）

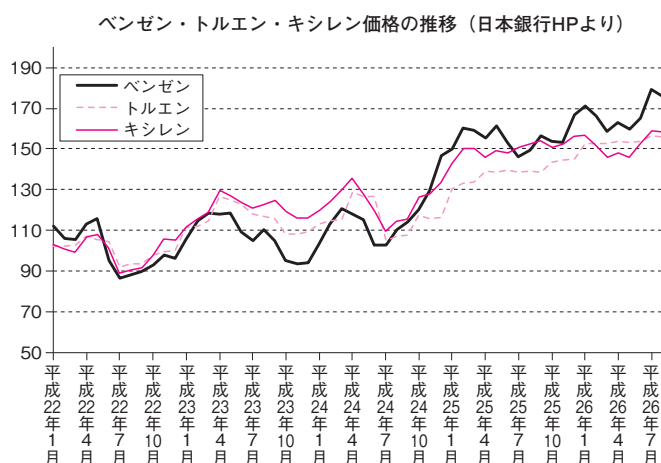
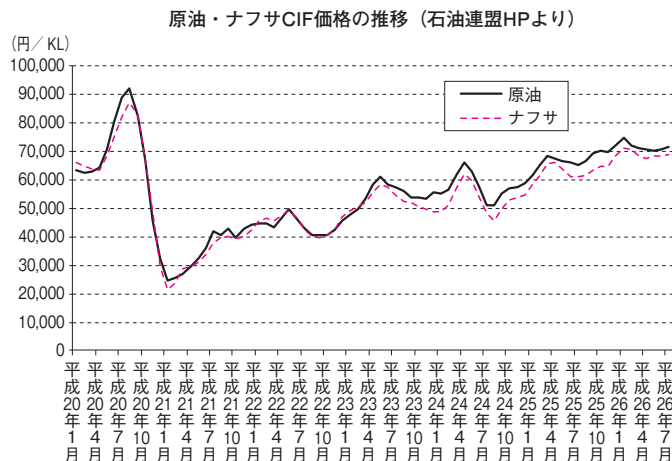
米価下落によりさらに厳しい農業情勢となっているうえに、生産者の農業経営は円安による生産資材価格等の上昇でますます厳しい状況になっていることから、原材料、製造経費、試験研究費などに関わる費用はメーカーで吸収し、価格抑制に最大限努力することを求めました。

2. 妥結結果

この結果厳しい交渉となりましたが、粘り強く交渉した結果、本会取扱農薬約1,400品目の内、80品目で値上げ、2品目で値下げとなりました。また、コスト低減対策として、これまで大型規格の設定品目が少なかった場面での大型規格を新規に設定しました。一方、強い値上げ要請のあった一部の品目については防除上の重要性を勘案し値上げを認めたものの、値上げ率については可能な限り圧縮しました。なお、米価下落による生産者の負担を少しでも軽減するため、水稻品目はほぼ据え置きとしました。

3. その他

J A全農えひめでは、系統農薬協同購入促進要領のなかで、全国価格に先駆け価格折込みを実施しており、全国の価格交渉結果がストレートに反映されていませのでご注意ください。



- ・電気料金等の動燃料の値上げによる製造経費の上昇
- ・副原料における石油由来のキシレンや基質等の価格の上昇
- ・ダンボール、ボトル等の包装資材の値上がり
- ・ガソリン価格の高止まりをうけての運賃上昇
- ・数量の減少に伴う製造固定費・労務費等の上昇
- ・副原料・資材の購入で下請取引先からの値上げに応じざるを得ないコストの上昇
- ・登録維持経費の増加

〈製剤部分〉

ハチハチ
ジマンダイセン、リニエロン、アクトノール、ジフルフェニカン、アトラジン、ゴーゴーサン、トレファノサイド、嵐、ダイムロン、サイアノックス、リゾレックス、スターナ、シクロサル、ポリオキシシン、MCPB、アプロード、



くすぶっている夢を外に出してあげる、ということ

「わしはなあ、その人に言われて、夢を追いかけるのやめたんじゃ。」
10年ほど前に、ある人から言われたセリフです。

小さな演奏会に行った時、私に声をかけてくる、えらく目立つ格好の方がいました。知り合いでも何でもない人です。ここによく来る方らしく、いろんな人に大きな声をかけています。何でも、貿易業をされている知人をえらく尊敬しているそうで、その方に「夢は仕事にするもんやない」とアドバイスされて、自分の夢であった音楽を諦めたんだそうです。それから「それなりに才能はあったと思う、もし続けとったら…」と、薄くなった髪に手をやりながらその方の話は続きました。

私は高校生の時「自分の映画を作りたい」という夢をもっていました。その時期に自分の明確な夢を定められていたことは、本当に幸運だったと思います。無事映画を作る大学に進んだ私は、そこでバリバリ自分のやりたいことをするつもりでした。しかし、その

夢はすぐ高い壁にぶち当たります。

映画を作ること、特にドラマを作るということは決して一人ではできません。映画とは、人間関係の上で成り立つ芸術なのです。今でもそうですが、当時さらに人間として未熟だった私は、在学中ついにその壁を越えることができませんでした。当時はバブル真っ只中。ちよつとバイトすれば遊ぶお金はすぐに稼げました。誘惑も多く、都会に出たケツの青い田舎者は怠惰な日常を自ら受け入れ、墮落した生活を送りました。いくつか短編らしきものも学校の課題として作りましたが、どちらかというと映画は作る対象から観る対象に戻り、たまに観ると「あ、そのシーンは俺ならこう撮る」とか、「もつとこうしたらいいのに、だっせーよな」と画面に向かって悪態までつく始末。こうして人生最大のチャンスが散りばめられていた大学の4年間はあっという間に過ぎてしまいました。

結局私は「映画を作る」という夢に無理矢理フタをして、松山に帰って広告・出版の仕事に就きました。相変わ

森 幸一郎

KOUCHIROU MORI

ヒメブタの会（愛媛を舞台にした自主映画の会）代表。映画監督、個人事業主、主夫。1968年12月9日生まれ、松山市出身。松山南高校在学中より映画制作を志し、大阪芸術大学芸術学部映像計画学科に進学。卒業後地元に戻り、広告代理・出版会社に13年半勤務した後、36歳で退職し個人事務所を設立。2010年同会を立ち上げ、たった1人で映画づくりを始める。およそ3年かけて制作した第1作「生まれては消え」は、三津浜を主な舞台として県内各所でロケを行い、150人以上のボランティアスタッフ・キャストを動員した4部構成・7時間以上の大作となった。2014年には西予市からの依頼で「食堂ゆすかわ」を制作。城川町遊子川地区を舞台に、過疎に悩む限界集落の問題に鋭く切り込みながらも、美しい風景と心温まる人情劇に仕上がっている。地元をはじめ、11月に松山で行われた上映会は全て立見の大盛況となり、首都圏での上映も決定。また、自らの制作活動のほか、愛媛でロケが行われる映画への制作参加や、映像制作を志す若者や学生への支援も積極的に行っている。家庭では外で働く妻のお弁当づくりと家事をこなす主夫でもある。

◆ヒメブタの会

URL / <http://www.himebuta.jp>



▲5月に地元公民館で行われた「食堂ゆすかわ」上映会にて、出演者とともに舞台挨拶（左端が森さん）

らず映画は好きで、好きな監督の作品を中心によく観ていました。毎日のようにいろんな映画を観ていると、時々本当に心を動かされる作品に出合うことがあります。そんな時、私の心は激しく動揺しました。「今のままの生活で本当にいいのか」「自分のやりたいことは、人に喜怒哀楽をもたらすドラマを作ることはなかったのか」。そう、私の裸の心は常に飢え、渇き、泣き声をあげていたのです。

「今ならできるかもしれない」そう

考えたのは30代半ばからです。稚拙ながら社会的常識や人脈・組織の作り方、そしてプロモーション等の手法をある程度身につけたらいいなと思った私は、思い切って会社を辞めました。しかしいきなり映画づくりはできません。その時私が目標としたのは愛媛というフィールドで自主映画を制作することだったのですが、それが飯の種になることは到底思えませんでした。夢だけ追いかけてやがて経済的に立ち行かなくなった例は幾らも知っています。私は

まず自分の食い扶持となる生業をつくることから始めました。努力を重ねた結果、幸い3年ほどで事業は軌道に乗りました。

そして、40を過ぎてから現在代表を務める「ヒメブタの会」を立ち上げ、ついに夢であった「映画を作る」ことが現実となったのです。映画館で満員のお客さんに自分の映画を観ていただくこともできました。もちろんこままでの道は平坦ではなかったし、たくさんの人々の助力なくして夢の実現はあり得ませんでした。今考えてみると、この無償の労と時間を提供してくれたたくさんの人たち一人一人が、自分にとってかけがえのない「財産」なんだということがよく分かります。

あなたには今、夢がありますか。もしくは、かつてありましたか。今が幸せ、別にないよ。でも、心の中にくすぶっている夢はありませんか。どんな種類・どんな大きさの夢でも関係ありません。私は、「仕事だ、家庭だ、時間がない」と、自分の夢をもちながら、それを諦めた言い訳ばかりうまくなる大人にだけはなりたくなかった。でも、いや、一度はなりかけました。でも、年齢を重ねてからでもその夢を追うことはできます。年齢や周りの環境を言い訳にするのはもうやめませんか。あなたの今までの人生は何のためにあったのですか。むしろ年齢を経た人ほど、その分多くの「財産」を持っているはずですよ。何かを始めるのに、「今」より早い時はないのですよ。



▲シアターねこ(松山市緑町)で開かれたトークイベント「仲間を100人集めて映画をつくること」にて

●平成26年度愛媛県総合畜産共進会 肉用種種牛の部 農林水産大臣賞に坂本英喜さん「うめずる」

平成26年度愛媛県総合畜産共進会の第76回家畜改良共進会・肉用種種牛の部が、10月17日、西予市野村畜産総合振興センターで開かれ、農林水産大臣賞に経産牛部門優等賞首席の坂本英喜さん（JAえひめ南）の出品牛「うめずる」が選ばれました。

農林水産省生産局長賞（未經産牛部門優等賞首席）は、平井正人さん（JAひがしうわ）の「ここあ」、中国四国農政局長賞（子牛雌部門優等賞首席）は池田一成さん（JAえひめ南）の「えいこ11」が受賞。子牛去勢部門優等賞首席には角藤幸男さん（JAひがしうわ）の「快晴」が選ばれました。

共進会は、家畜改良と畜産の振興を図るため、(公社)愛媛県畜産協会が毎年開催。今回は、経産牛の部20頭・未經産牛の部12頭・子牛の部113頭が出品されました。

大臣賞初受賞の坂本さんは、「牛の名号を“さん”づけで呼んでおり、この牛は『うめさん』。物怖じしない性格が良かったのでは。今まで通り大事に牛を飼っていきたい」と今後の抱負を話していました。

共進会后、JA全農えひめが和子牛臨時市場を開催し、108頭（雌54頭、去勢54頭）が取引され、1頭あたり平均販売額（税込）は、雌が464,040円（前回比43,027円高）、去勢が581,720円（同60,688円高）と前回は大きく上回る高値で取引されました。

その他の受賞者は次の皆さん（敬称略・



▲大臣賞に輝いた坂本英喜さん「うめずる」

カッコ内はJA名)

【経産牛部門】▽優等賞次席＝山岡造（愛媛たいき）▽1等賞首席＝池田一成（えひめ南）▽同次席＝井関秀夫（ひがしうわ）▽同3席＝柳谷産業開発公社（松山市）▽同4席＝越智章（周桑）

【未經産牛部門】▽優等賞次席＝赤松宣明（えひめ南）▽1等賞首席＝岡山則雄（ひがしうわ）▽同次席＝柳谷産業開発公社（松山市）

【子牛雌部門】▽優等賞次席＝手嶋通（周桑）▽1等賞首席＝村上克也（ひがしうわ）▽同次席＝井関秀夫（ひがしうわ）▽同3席＝角藤幸男（同）

【子牛去勢部門】▽優等賞次席＝池田一成（えひめ南）▽1等賞首席＝矢野隆俊（愛媛たいき）▽同次席＝山口福巳（ひがしうわ）▽同3席＝大江幸弘（松山市）

●ひめライス新米キャンペーン抽選会 応募数と期間中の売上数量が前年上回る

(株)ひめライスは、11月13日、松前町の本社で、「ひめライス新米キャンペーン」抽選会を行い、松田一人社長らが、1万6,919通の応募の中から、当選者700人を選びました。

「えひめの人へ、えひめの新米。」と題したキャンペーンは、イメージキャラクターに愛媛出身のタレント友近を起用。テレビCM放映や店頭ポスター掲示、新米コーナーを31店舗で設置したほか、店頭試食宣伝活動などを通じて新米シーズン到来をPRし、県内産米の消費拡大とブランド力強化に取り組みました。キャンペーン応募数は前年比112%。売上実績（数量ベース）は、量販店・業務用が伸びて、全体では前年比103%でした。

同社では、12月下旬から2月末まで、「無洗



米『あらうまい』キャンペーンを実施。戦略商品として位置づける無洗米の利便性やメリットをPRして、利用定着と愛媛の米の販売拡大に取り組みます。

●平成26年産 冬春野菜出荷協議会

共販量は前年比118%・5,113tを計画

J A全農えひめ野菜花卉課は、11月5日、平成26年産冬春野菜出荷協議会を開き、レタス・冬春きゅうり・いちごなど主力8品目の販売基本方針を決めました。

栽培面積は、加工業務用を中心に前年比172%となったキャベツなど4品目が前年を上回り、全体では前年比105%の216.9haを見込んでいます。共販量は、全体では5,113t（前年比118%）を見込んでいます。

販売基本方針では、①企画販売等多元的販売の強化、②消費宣伝活動の強化、③安全・安心への取り組みをあげています。

多角的販売強化では、市場流通を基本にパートナー市場と連携をさらに強化し、量販店等実需者販売、惣菜・外食等の加工・業務販売など販売ルートの拡充により、長期安定単価の確保をめざします。加工業務用キャベツを中心に新規販路拡大を図ります。厳寒期の不安定な出荷が予想される中、愛媛チームとしてロットを確保し、販売先を見据えた分荷・販売を行います。

平成26年産 冬春野菜出荷計画 (単位：ha、トン、%)

品 目	平成26年産出荷計画		前年比 (%)	
	面 積	共販量	面 積	共販量
い ち ご	30.6	1,064.6	95	105
キャベツ	21.5	734.7	122	192
レ タ ス	43.1	975.8	100	101
ブロッコリー	58.6	382.3	102	115
冬春キュウリ	20.7	1,354.2	98	122
冬春トマト	1.3	178.8	93	102
白 ね ぎ	15.9	244.8	99	123
ほうれんそう	25.2	178.2	105	124
合 計	216.9	5,113.4	105	118

品目別に「目標単価」を設定し、企画販売比率の向上により有利販売をめざします。企画販売は、冬春野菜販売全体の8%にあたる2億700万円（40企画）を計画しています。

なお、市場からは、各品目とも、栽培面積・出荷量の拡大と期間を通じた安定出荷、適期収穫、的確な産地情報の発信、J A・個人間の品質格差是正などの要望が出されました。

●紅まどんな選果目あわせ会

「紅まどんな」のブランド確立に向け基準順守を！

愛媛オリジナル品種「紅まどんな」の出荷の前に、J A全農えひめは、11月11日、商標登録している「紅まどんな」のブランド確立を図るため、伊予市のJ Aえひめ中央南伊予支所で「紅まどんな選果目あわせ会」を開きました。目合わせ会は、消費者・販売先の期待に応えるため、品質の向上と品格の統一をめざして24年から行っており、今年で3回目。J Aの販売・選果担当者と愛媛県、市場から40人が出席し、J A全農えひめの担当者が、出荷要領と選果基準を具体的に説明し、基準を順守して品格・価格に見合った商品を提供するよう呼びかけ、選別・出荷基準を確認しました。

「紅まどんな」は、商標権をJ A全農が所有し、愛媛県で育成された品種「愛媛果試第28号」の中で、糖度・酸などJ A全農えひめの定める品質基準をクリアし、県内J Aが出荷するものに限り商標使用を認めています。

12月の贈答用商品として市場・販売先から高い評価を受けて面積・生産量とも拡大しており、産地の期待も大きい品種です。

市場関係者は、「数量拡大に伴い、12月の贈答用商品として知名度も上がっており、昨年は



▲J A全農えひめの担当者（手前）が選果基準を説明

不足した時期もあった。今年は数量拡大に伴い一般店舗等への販売も拡大したい。12月の柑橘販売の起爆剤となっていきたい」と期待を寄せるとともに、「贈答柑橘は、もらった方からの反応がなかなか伝わってこないだけに、評判を落とすことのないよう品質内容によりこだわってほしい」と昨年以上の厳選出荷を呼びかけました。

26年産は、面積が前年比120%の172ha、生産量は前年比128%の1,704トンを見込んでいます。

●JAグリーンえひめ収穫祭 芋炊きお接待や芋掘り 体験などで交流深める

東温市の農産物直売所「JAグリーンえひめ」は、10月24日～10月26日の3日間、「秋の収穫祭」を開催しました。

期間中は、先着30組の親子を対象に「芋掘り無料体験会」、とれたて芋の「ふかし芋販売」、出荷会員による「芋炊きお接待」、卵や球根のつかみどりなど様々な催し、2,000円以上お買い上げのお客様対象に特賞「伊予牛『絹の味』すき焼き用1kg」などが当たる抽選会などを実施し、生産者と消費者の交流を深めました。

なお、10月28日には、毎年恒例となっている地元の南吉井保育所の園児たちが芋掘り体験を楽しみました。



●第6回「子ども野菜の絵コンクール表彰式」 年長部門金賞に二宮尚紀くん

伊予市下吾川のJAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケットいよっころは、10月15日と26日の2日間「秋の大収穫祭」を開き、伊予牛「絹の味」黒毛和牛骨付きモモ肉の丸焼きや餅つき、野菜・みかん詰め放題、店名にちなんで1,456円以上お買い上げの方先着300人対象のガラポンくじなど多彩な催しを実施して賑わいました。

26日には、第6回「子ども野菜の絵コンクール表彰式」を開き、年長部門で金賞を受賞した二宮尚紀くん(=写真・木の実幼稚園)など入賞者全員に賞状と肉・野菜の詰め合わせを贈って表彰しました。



[ひな人形 特別展示会]



雛
ひなまつり

秀峰 2015 Collection



清く、優しく、美しく… すこやかに育てとの願いをこめて…

JA組合員の皆様へ

豪華段飾りからコンパクトな収納飾りまで 県下最大級の品揃えで、厳選されたお品をご納得のお値段にてご奉仕させていただきます。

●新作 ひな人形 特別展示会

■ 場所 / 秀峰 人形の光商会 大展示場

松山市保免上2丁目2-1 TEL (089) 945-0087

■ 日時 / 1月23日(金)～26日(月)

■ 営業時間 / AM10:00～PM6:00 ■ 4月末まで休まず営業いたしております

お問い合わせはお近くの各農協JA窓口へお気軽にどうぞ。



●平成26年産 冬春花き出荷協議会

安定供給と需要に対応できる出荷体制めざす

J A全農えひめ野菜花卉課は、11月10日、冬春花き出荷協議会を開き、夏秋期品目の販売結果と冬春期品目の出荷計画・販売方針を協議しました。

夏秋期のシンテッポウユリは数量が前年比102%の62万3,130本、単価が前年比97%。夏秋期品目全体では数量前年比93%、単価前年比102%、金額ベースは前年比95%でした。

冬春品目（11月～5月）の出荷計画では、オリエンタルユリが面積302a（前年比94%）・数量47万4,000本（同122%）、デルフィニウムは面積161a（同101%）・数量26万9,400本（同94%）、ユーカリは面積1,653a（同107%）・数量619,700本（同103%）を見込んでいます。

販売基本方針では、産地間の連携強化による



拠点市場への長期継続出荷体制の強化と物日等需要期の数量確保・注文対応、品質向上・実需者ニーズに合わせた提案による価格の底上げ、選花選別の設定、イベント等を通じたPR活動によるブランドの強化・地位確立などに取り組めます。

●(株)えひめ飲料

(株)えひめ飲料の強みを発揮した“香りで味わう伊予柑炭酸”「POMいよかん香るスパークリング」発売！

J A全農えひめのグループ会社・(株)えひめ飲料（本社松山市）が、伊予柑由来の香りと風味にこだわった新製品「POMいよかん香るスパークリング」（410ミリリットルペットボトル）を12月1日、全国一斉発売しました。

商品のキャッチコピーは、「香りで味わう伊予柑炭酸」。外皮を剥いた時に広がる独特の上品で華やかな伊予柑特有の香りを活かした炭酸飲料に仕上げています。伊予柑を大量に搾汁している(株)えひめ飲料の強みを発揮し、伊予柑果実そのものから採った3種類の香り成分＝「コールドプレスオイル」「エッセンシャルオイル」「エッセンスアロマ」を使用。伊予柑独特の上品で華やかな香りをそのまま再現しました。また、香りがより引き立つよう、苦味を取り除いた愛媛県産伊予柑果汁を10%使用しています。

(株)えひめ飲料の商品開発担当者は、「3種類



の香り成分は、当社にしか採れない香り成分。口の中で広がる爽やかな伊予柑そのものの香りを、ぜひ飲んで味わってください」とアピールしています。

希望小売価格は140円（税抜）。

なんでもBOX

●第23回愛媛農林水産賞

J A 愛媛養豚経営者協議会など3団体が優秀賞受賞

愛媛県の農林水産業の振興や発展に功績のあった個人・団体を表彰する『第23回愛媛農林水産賞』（愛媛新聞社主催）の表彰式が、10月22日松山市の愛媛新聞社で行われ、優秀賞の3団体と新人賞の1団体・1個人が表彰されました。

優秀賞を受賞したのは、J A 愛媛養豚経営者協議会（竹内日出男会長）、J A えひめ中央、J A えひめ南ブラッドオレンジ栽培部会（児玉恵部会長）。

J A 愛媛養豚経営者協議会は、「ふれ愛・媛ポーク」のブランド化を進め、高品質な豚肉を提供し、販促・消費拡大に向けたPR活動も積極的に展開。各種生産性向上に向けたプロジェクト等の活動を通じて経営改善を進めるとともに、養豚疾病の危機に対する防疫体制の整備など、会員が一体となった取り組みが評価されました。

J A えひめ中央は、愛媛オリジナル品種の「紅まどんな」の産地拡大、高品質生産に向けた栽培技術の確立・普及、選果基準の徹底などに取り組み、年末贈答用果実としての地位を確立。

同品種の県内栽培面積の約7割を占め、積極的な販売促進活動でブランドのけん引役を果たすとともに、生産者の増加・所得向上、地域の活性化に貢献しました。

J A えひめ南ブラッドオレンジ栽培部会は、地球温暖化により栽培可能となったブラッドオレンジに着目して産地化を実現。同品種の特徴である赤みを向上させるための栽培・貯蔵技術の解明に取り組み、高品質果実の安定生産・出荷体制を確立しました。大手飲料メーカーが加工品に採用するなど多様な販売を実現。農家所得の向上、地域活性化に貢献しました。

表彰式では、受賞者を代表してJ A えひめ中央の菅野幸雄代表理事理事長が、「栄誉ある賞を受賞できて身に余る光栄です。受賞を励みに、生産者と一体となって、地域の生産基盤を守り継承する取り組みなどを通じて県内農林水産業のさらなる発展に尽力したい」と謝辞を述べました。

なお、新人賞は、久万高原町青年農業者連絡協議会（田村隆悟会長）と西予市の菊池俊一郎さんが受賞しました。



▲表彰を受けるJ A 愛媛養豚経営者協議会・竹内会長（右）



▲表彰を受けるJ A えひめ中央・菅野理事長（右）



▲表彰を受けるJ A えひめ南ブラッドオレンジ栽培部会・児玉部会長（右）

平成26年度早生みかん果実コンクール入賞者紹介

J A 全農えひめと愛媛県果樹同志会が10月21日開催した「平成26年度早生みかん果実コンクール」入賞者を紹介します（カッコ内はJ A 名・敬称略）。

▽愛媛県知事賞＝毛利英二（J A にしうわ）

▽全農愛媛県本部長賞＝竹田源太郎（えひめ南）

▽果樹同志会長賞＝渡部繁喜（おちいまばり）、
▽優良賞＝松下定彦（えひめ南）、西川晴喜（同）、
川上治仁（ひがしうわ）、松田幾弘（にしうわ）、
井上金蔵（同）

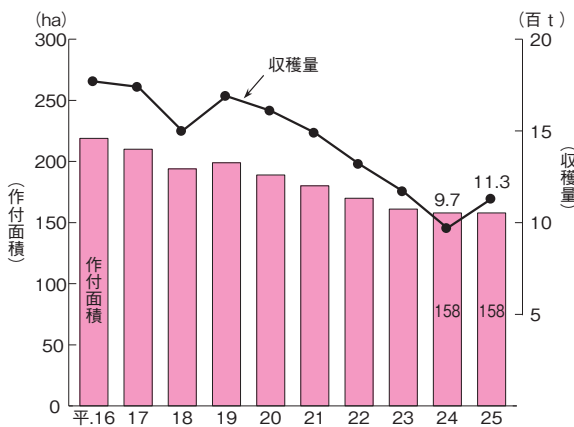
※コンクールの概要は、11月号の農の風景コーナーで紹介しています。

統計BOX

そらまめの収穫量は全国第4位！

— 平成25年産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量(年間計)調査結果から —

図1 そらまめの作付面積及び収穫量の推移(愛媛県)

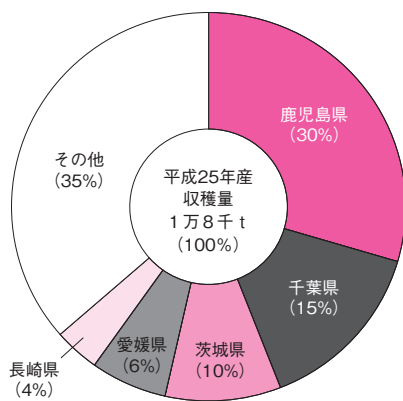


全国、愛媛県ともに
収穫量は増加

平成25年産そらまめの全国の作付面積は2,110 haで、前年産に比べて40 ha (2%) 減少し、収穫量は

愛媛県は果樹栽培が盛んであることは、多くのおみなさんがご存じだと思いますが、平成24年の農業産出額(1,230億円)を部門別にみると、野菜は176億円と全体の14%を占め、果実、米に次いで3位となっています。そこで、今月は愛媛県で栽培されている野菜の中でも全国順位が上位にある「そらまめ」の生産推移をみていきます。

図2 そらまめの都道府県別収穫量割合



上位4県で収穫量の
約6割を占める

1万8,000 tで、3月の気温が高めに推移し、着さや数が確保されたことから、前年産に比べて900 t (5%) 増加しました。

一方、愛媛県の作付面積は158 haで前年産並みとなり、収穫量は1,130 tで、全国と同様に着さや数が多く、生育が順調であったことから、前年産に比べて160 t (16%) 増加しました(図1)。

都道府県別の収穫量は、鹿児島県が5,320 t (全国シェア30%) と最も多く、次いで千葉県2,610 t (同15%)、茨城県1,710 t (同10%)、愛媛県1,130 t (同6%) の順となっており、上位4県で全国

の約6割を占めています(図2)。

愛媛の「一寸蚕豆(いっすんそらまめ)」は、県内全域で栽培されており、主に京浜市場に出荷されます。長年培われた選果選別の徹底が認められ、市場では品質面で高い評価を得ています。一寸蚕豆は、ビタミンB類やミネラルが豊富で栄養的にも優れた食品です。皆さんも味わってみてはどうでしょうか。

現在、野菜産地においては、農業者の高齢化や担い手の減少等が進み、近年の猛暑や予想困難な局地的豪雨等の異常気象の発生と相まって産地基盤が脆弱化しています。また、需要面では加工・業務用を中心に輸入野菜のシェアが依然として高い傾向にあります。

このような状況を踏まえ、将来にわたって安定的な野菜の生産及び供給を確保していくためには、消費者・実需者のニーズに応じた一層の低コスト化、高付加価値化及び加工・業務用需要への対応強化が必要です。また、食べ方の提案などによる情報発信を通じた「えひめ野菜」の知名度向上と消費拡大を進め、競争力のある産地を実現しましょう。

中国四国農政局
松山地域センター農政推進グループ



- 「ボンジュース生誕45周年こだわりギフトプレゼント」ボンジュースというと、みかんばかりと聞いていたが、アップルやグレープ、フルーティックスジュースがあるんですね。いろんなプレゼントがあったりして、購買意欲を誘うんですね。さっそく、アップルとグレープジュースに挑戦して応募してみます。
最近、愛媛と並ぶみかん王国の和歌山へ旅行しました。立ち寄る土産物店や産直市もみかんをアレンジしたり種類が沢山あり、柑橘に取り組む意欲が伝わりました。『えひめ』の柑橘も負けてないよと改めて、郷土愛を感じて帰ってまいりました。
(八幡浜市・岡 葉子さん)
- 26年産みかん出荷販売対策と消費宣伝を読んです。私が共選の役員をしていた当時、全国のカン生産量が380万トンあり大変でした。今は5分の1に減少していますが、もって健康に良いミカンを食べていただきたいと思います。
(八幡浜市・平家 祥照さん)
- ニュースの中の「夏休み親子で学ぼう地産地消体験ツアー」が良かったです。スーパー店頭で見えないものを実際に手に取り、それを食することに食べ物の美味しさを改めて体験できる素晴らしい企画だと思います。ぜひ継続してみてください。
(平塚市・神成 嘉幸さん)
- 野菜の日イベント。毎朝果物をジュースでジュースにして子どもたちと飲んでいました。キュウリと野菜ジュースのスムージーは一体どんな味なのでしょう？ さっそく作ってみました。と思います。今後いろいろな食べ方を教えてください。
(四国中央市・寺尾 智美さん)
- 農の風景の野菜の日イベント。野菜スムージーはこの間テレビで見て、作ってみました。いろいろ身体によいとのこと、その中でも認知症防止になるということで、母と毎日飲むうと思っています。私の作った材料は、ホウレンソウ、レタス、リンゴ、水でしたが、記事のようにトマトとかキュウリとかを入れていろいろ試してみようと思いました。参考にします。
(西条市・武田 五月さん)
- ふるさとエッセーは読んでみると元気がもらえるような記事でした。村松さんのような人に相談すれば、心の病も吹っ飛びそうですね。そんな村松さんもいろいろな困難を乗り越えて、今のこころ塾を作られたのだと思うと、私もまだまだこれから頑張るかもしれないと自信と勇気を感じました。「私が10年後の社会を作っている」と思うと、毎日が充実しそうです。
秋になって食べ物がいよいよ季節になり、我慢できずにいろいろ食べてしまいます。それと同時に肌寒くなり、衣替えが間に合わず、風邪をひいてしまいました。衣替えのタイミングって難しいですね。寒い季節は野菜いっぱい鍋やシチューを食べる風邪に気をつけながら、過ごしていきたいと思っています。
(四国中央市・山根 奈実さん)
- 10月号の表紙の絵。私も子どもの頃、祖母と麦の穂をおとす手伝いをしたことがあり、とても懐かしかったです。祖母に小さい束にして渡すと、くるくるまわし麦が出てきました。それを製麺所に持って行き、うどんを作った食べさせてくれました。戦後の食料難の時のごちそうでした。とても良い表紙でした。
しまのわ国際サイクリング大会で約7,300人の方が上島町を走ったり、ヨットが弓削港に寄港してくださる外国の方にだんじりを担いでもらつても喜ばれたり、合併10周年も迎えて10月はとてもイベントの多い月でした。
(上島町・春富 静子さん)
- 表紙の脱穀作業、子どもの頃を思い出しました。休みの日には家族総出で作業……。かまで一株ずつ稲刈りをし、乾かして脱穀。手間暇かけて食べた新米は最高でした。
椎茸の美味しい季節になりました。椎茸は長寿につながる食品と聞きました。血液の中の余分なコレステロールを腸内から排出し、血液の中のコレステロール量を適正な量に保つ働きがあるそうです。椎茸の美味しいお料理レシピも載せてください。
(今治市・阿部 紗弓さん)

今月のクイズ

卓球女子日本代表選手でロンドン五輪シングルス4位、団体では銀メダルに貢献した全農所属の選手名は？

「○○○○」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成27年1月19日(当日消印有効)

発表表

「あぐり」2月号で発表します。

当選者発表

10月号の答えは「野菜スムージー」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

小林 寛子さん(松山市)	長井 悠輔さん(西条市)
高橋千代美さん(西条市)	宝利 礼子さん(四国中央市)
伊賀 功さん(東温市)	安藤 満恵さん(西条市)
岡田 絹枝さん(今治市)	小倉 朝美さん(松山市)
高見志保美さん(今治市)	後藤 亜紀さん(今治市)

編集後記

★11月1日開催したレインボーフェスティバルは、午後からあいにくの雨模様でしたが、オープニングから賑わいました。JAのブース等でも、果実や野菜の袋詰め放題、すくいどりなど様々な工夫を交えて販売・PRされていました。ご協力ありがとうございました。残念ながら来場・参加できなかった方も、誌面でイベントの雰囲気を感じていただけたらと思います。(正直)



NOW NOW

COOKING

今月の素材 ユズ



五感を刺激する
料理の名脇役



▶ (左) ユズと鶏肉・大根の煮物、(右前) ホタテのユズ釜焼き、
(右後) ユズ蕪

指導／学校法人愛媛学園（愛媛調理製菓専門学校）大佐古 正子先生

ユズと鶏肉・大根の煮物

〈材料・4人分〉	※1人あたり約164kcal
ユズ	1個
鶏モモ肉	2枚(約400g)
大根	10cm
ゴボウ	1本
アサツキ(青ネギ)	1/2束
サラダ油	適量
① ダシ	400cc
② 砂糖	60g
③ 濃口醤油	60cc
④ 酢	30cc

〈作り方〉

- ① ユズの皮(約1/2個分)は千切りにし、果汁をしぼる。
- ② 鶏肉は食べやすい大きさに切る。
- ③ 大根、ゴボウは乱切りにして下茹でする。アサツキは3cmに切る。
- ④ 鍋にサラダ油を熱し、鶏肉を入れてサッと炒め、大根とゴボウを入れ、①を加えて煮込む。
- ⑤ 10分程煮込んだら、仕上げにアサツキを加え、①の果汁と皮を加える。

ホタテのユズ釜焼き

〈材料・4人分〉	※1人あたり約179kcal
ユズ(大)	4個
ホタテ貝	4個
ベーコン	1枚
レンコン	1/3本(約50g)
ミツ葉	1/4束
塩	少々
サラダ油	少々
ジャガイモ	2個
卵白	1個分
① 鶏ガラスープ	大さじ3
② バター	5g
③ 塩	少々

〈作り方〉

- ① ユズは上部1/4で切り落とし、スプーンで果肉を取り出し、釜を作る。
- ② ホタテ貝は4つに切り、ベーコンは5mm幅に切り、レンコンは5mmのさいの目切り、ミツ葉は3cmの長さに切る。
- ③ ジャガイモは茹でて、つぶすか、裏ごす。
- ④ ③が冷えればボウルに入れて、①を加えて、混ぜる。
- ⑤ フライパンに油を熱し、②の具材を入れ、塩を加えて炒める。
- ⑥ ④に⑤を加えて、①に詰め、8～10分蒸して、火が通ればオーブンかトースターで焼き目をつける。

ユズ蕪

〈材料・4人分〉	※1人あたり約71kcal
ユズ	1個
カブ	3個
セロリ	1本
塩	少々
① 水	200cc
② 砂糖	1カップ
③ 酢	100cc
④ 昆布(細切り)	5cm角

〈作り方〉

- ① ユズは皮を取って千切りにし、果汁はしぼる。
- ② カブは皮をむき8つのくし切り、セロリは皮をむき薄切りにし、それぞれ塩を振り、しんなりさせて水気を切る。
- ③ 鍋に④を入れて火にかけ、さっと沸いたら火を止めて冷やし、ユズ果汁(大さじ1)を加える。
- ④ ③にカブ、セロリ、①のユズ皮を加えて漬ける。60分程度漬ければ食べ頃となる。

いよかん かん香る
スパークリング

愛媛県産 伊予柑果汁使用

香りで味わう 伊予柑炭酸

伊予柑果実そのものから採った
3種類の香り成分を原料とした香料を使用。
伊予柑果実そのままの香りを再現しています。

いよかん かん香る
スパークリング

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<http://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <http://www.pom-j.com>

第37回 えひめみかん祭り

えひめの風と薫りと愛顔を届けます

展示 & 販売会

果実コンクール・愛媛かんきつと加工品販売

県内各地より選ばれた多彩な果実と加工品が勢揃い。
果実コンクールは予約販売です。お早めにお越しください。

試食 高級かんきつ・紅まどんなをはじめ、普段味わうことが
できない品種が勢揃い!! ※各品種がなくなり次第終了

2015

1/24 sat・25 sun

いよてつ高島屋8階 スカイドーム特設会場
午前10時～午後7時 ※25日(日)は午後6時まで

今年も、榊形浩人・作道泰子が
みかん祭りを盛り上げます!

みかん餅つき

みかん祭り恒例、
大人気のみかんのお餅!

○24日(土) 午後4時～
○25日(日) 午後1時30分～ ※**先着100名様**

みかん風味綿菓子

午前10時～午後5時まで
お一人様一つ限りです。

ポンジュース蛇口

午前10時～午後3時まで

みかんクイズ

愛媛の人なら
知らないかん!!

○正午～
○午後3時～

ステージ演奏

認定こども園
小羊園のちびっこ和太鼓

24日(土) 午前10時30分～
24日(土) 午後1時30分～

「ジュエル フルーツ実演」

ご利用券

※H27年1月
24日・25有効
※材料に限り
がありますの
でお時間によ
ってはご利用
できない場合
があります。
17:00まで

**みかん祭り
わたがし**

参加
自由

無料

○「愛のオレンジロード」紹介 ○みきゃんも
午前11時～ 来るよ!

○みかん早剥き大会 午前11時10分～

写真も
OK

主催: 愛媛県 JA全農えひめ 愛媛県果樹同志会 愛媛新聞社

後援/愛媛県議会、愛媛県農業会議、愛媛県農業協同組合中央会、愛媛県信用、愛媛県農業共済組合連合会、株式会社 日本政策金融公庫松山支店 農林水産事業
JA/バンクえひめ農林中央金庫松山推進室、愛媛県果実生産出荷安定協議会、全国共済農業協同組合連合会愛媛県本部、えひめ愛フード推進機構
協賛/いよてつ高島屋、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、FM愛媛、読売新聞松山支局、朝日新聞松山支局、毎日新聞松山支局、産経新聞松山支局、日本経済新聞松山支局
日本農業新聞、時事通信社松山支局、共同通信社松山支局、日刊工業新聞社松山支局 (順不同)